

参議院秋田県
選出議員選挙

選挙公報

令和7年7月20日執行
秋田県選挙管理委員会

生活の実情が見えていない今の政治を変えたい。



物価高から暮らしを守る大胆な対策を

- 食料品など生活必需品の消費税を引き下げて、家計負担を減らします。
- 暫定税率や二重課税の廃止で、ガソリン代など燃料費負担を減らします。
- 社会保険料の減免で賃上げを実現し、現役世代の手取りを増やします。

農林水産業は命を支える人間生活の要

- 農業・林業従事者の所得を確保して、多様な担い手と地域を守ります。
- 生産者と消費者双方が納得できる農産物価格の合意形成を図ります。
- 資源の調査・保全に努めながら、養殖業と新魚種の市場開発を支援します。

子どもたちと親たちが幸せを実感できる社会に

- 経済的・人的支援を拡充し、子育てを徹底的に支える社会をつくります。
- 育児や介護と働くことが無理なく両立できる社会の仕組みを構築します。
- 一人ひとりの子どものありのままを受け止める学び育ちの場を確保します。

安心できる介護・医療・障がい者福祉を

- 介護・医療従事者の待遇改善で人材を確保し、老後の安心をつくります。
- 地域医療を担う公立病院を支援し、専門医の遠隔診療の体制を整えます。
- 障がい児者とその家族を孤立させないよう、生活・就労支援を拡充します。

プロフィール: 寺田静(てらたしずか) 1975(昭和50)年、横手市生まれ。横手城南高校中退後、大検取得、育英会の奨学金を受け早稲田大学入学。卒業後、東京大学生産技術研究所勤務。不登校だった自らの経験からフリースクールにてボランティア。この間、弟が突然の病に倒れ、遷延性意識障害(いわゆる植物状態)を経て亡くなる。この出来事が人生に対する考え、生き方に大きな影響を与えた。米留学後、国会議員公設秘書を経て2019年参議院選挙で初当選。国会では農林水産委員会等に所属し、質疑は約70回。国際人口問題議員懇談会幹事、医療的ケア児者支援協議連事務局長、児童養護協議、ママパパ協議、インフルーシブ雇用協議、自殺対策協議、学びの多様化協議、子どもの貧困対策協議、UNHCR協議、LGBT協議、補助犬協議などに所属。全ての子どもの育ちと学び、介護、男女格差の是正、里親委託の推進、農業振興、環境問題、地方の課題等に取り組む。夫と息子(小学生)の3人家族。



公式ウェブサイト、
各種SNSはこちら



てらたしずか

2枚目の投票用紙

候補者または他の政治団体の名称を正しくはる

NHK党

比例代表 選出議員選挙投票

候補者の氏名を、欄内に1人書くこと。

二 候補者の氏名を代えて政党その他の政治団体の名称又は略称を、欄内につき書くことである。

国民を増やして、NHKをぶっ壊す!

NHK党はNHK受信料を不払いするあなたを全力で守りし、不法移民から国民を守ります。そのためには、あなたの投票がとて大切になります。1枚目の投票用紙には、選挙区のNHK党公認候補者名を、2枚目の投票用紙には「NHK党」とお書きください。あなたが投票する選挙区と比例区の2票が必要です。

NHK受信料を不払いする国民を増やして、NHKをぶっ壊す!

生活保護受給者のNHK受信料は無料なのに、年金受給者にはNHK受信料が請求されます。これっておかしくないですか?

全ての国民はNHK受信料を支払わなくて大丈夫です。

NHK受信料の支払いは任意であり、国民の義務ではありません。

NHK党は年金受給者のNHK受信料を無料にします!

日本国民を守るため、NHK党は不法移民に対して断固とした対応をしていきます。

移民大国といわれるアメリカでも不法移民を制御できず、あらゆる場所で暴動や略奪が起こり、海兵隊の兵士が派遣されるほど治安が悪化しています。独断的で強権的とのイメージもあるトランプ大統領ですが、不法移民の国外追放・強制送還は、自国民を守るための当然の決断なのです。

日本は出生率が過去最低になる一方、総人口に占める外国人割合が増加しており、このままではアメリカのように制御できなくなる将来もそう遠くありません。

未来ある子どもたちのためにも、これ以上日本に外国勢力を増やしてはいけません。暴動や略奪など無い、平和な日本を守るために命をかけて政治改革を進めていきます。

移民政策に賛成する党です。外国人への生活保護を廃止! 不法移民は直ちに国外追放!

トランプ

大統領の



NHK党

ほんだ

本田 幸久

ゆきひさ

NHK党コールセンター お気軽にお電話ください!

03-3696-0750

投票。それは、願いを込めること。

参議院議員
第27回 通常選挙

投票日: 令和7年
7.20日

期日前・不在者投票 7.4(金) → 7.19(土)



この選挙公報は、くじにより掲載順序を決定し、候補者から提出された原稿をそのまま製版して印刷したものです。

参議院秋田県
選出議員選挙

選挙公報

令和7年7月20日執行
秋田県選挙管理委員会

日本人ファースト 参政党

“3つの柱と9の政策”

これ以上、**日本**を壊すな!

詳しい参政党の政策はこちら! ▶



1 日本人を豊かにする の柱 ~経済・産業・移民~

- 1 “集めて配る”より、まず**減税**
国民負担率を上限35%に抑え、減税と社会保険料削減で給料の2/3は手取りで残す。
- 2 “**勝つ産業**”で**日本再興**
人工知能・製造業(自動車など)・サブカルチャーを重点政策「三本の矢」として支援する。
- 3 **行き過ぎた
外国人受け入れに反対**
日本は日本人で支える国に。移民の課題は「外国人総合政策庁」で一括して取り組む。

2 日本人を守り抜く の柱 ~食と健康・一次産業~

- 4 **米の確保**と**食の安全**
食料自給率100%、食品表示法の改善、オーガニック給食を推進する。
- 5 GoToトラベルで**医療費削減**
健康で医療費削減に協力した高齢者には国内旅行券を配布し外国人に依存しない観光業に再構築する。
- 6 **金儲け医療・WHO
パンデミック条約に反対**
医薬品業界や各国の利権が絡むWHO主導の新型感染症対策を見直す。

3 日本人を育む の柱 ~教育・人づくり~

- 7 **偏差値重視の管理教育を廃止**
偏差値重視の管理教育から“愛と勇気を育む”人格形成教育に変える。
- 8 **子供一人につき月10万円**
安心して子育てできる経済支援。0~15歳に月10万円の教育給付金を支給する。
- 9 **憲法づくりで政治に哲学を**
参政党の憲法草案はこちら▶
議案でも改憲でもなく、ゼロから憲法を創ることで国民の意識改革を促す。



さと
みわ
こ

参政党公認



比例も参政党へ

さと
みわ
こ
プロフィール

秋田県横手市生まれ、秋田市在住51年目、小学校の教員を定年退職後、一般社団法人 育骨コンディショニングのスペシャリストとして体の痛みや症状に合わせた体操指導、背骨矯正について人々に伝え、自分の体は自分で治すという観点から運動プログラムを提供。【趣味】 筋トレ、ケーナ演奏 【特技】 背骨矯正

消費者と生産者の笑顔のために。なかいずみだからできることがある。



なかいずみ松司のプロフィール

1979年 秋田市生まれ
1998年 秋田高校卒業
2003年 中央大学商学部卒業
齊藤滋宣事務所勤務
2005年 株式会社友愛ビルサービス入社
2007年 秋田県議会議員当選(27歳)
2013年 参議院議員当選(34歳)
2019年 落選

主な経歴

- 参議院 予算委員会理事
国土交通委員会理事
農林水産委員会理事
国会対策委員会副委員長
自民党政務調査会副会長
- 秋田県議会 総務企画委員 農林水産委員
教育公安委員長
- JA秋田県青年部協議会 顧問
秋田市年燈会 顧問
秋田港ライオンズクラブ 会長
秋田港商友会 副会長

もう一度、
秋田のために

46才

期日前投票へ
行こう!



日本の主食を守る

米政策の推進 消費者の確実な主食の確保
昨年から「令和の米騒動」のように、日本の食と農業政策は今大きな岐路に立っています。コロナ禍後の外食・中食産業やインバウンドの増、海外人気の高まりによる輸出増といった需要増などの要因を分析し、その上で私たちの主食であるお米を生産者が作り続け、国民が安心して手に取り、当たり前のように暮らしていただけるよう、重点的に対策を講じていきます。



県内の若手農家たち

持続可能な農林水産業

地域の多様性を活かした農業 農林水産予算の確保・充実
持続的な生産環境づくり
地域によって、効率化・集積によって農業所得向上を目指す産業政策的農業と、そこで生業として農業を営み暮らしを続けることによって自然災害や鳥獣害から地域を守る社会的農業といった違いがあります。どちらも重要な両輪として守り育てなければなりません。農業予算の確保はもとより、過疎対策や森林環境整備などの様々な予算を組み合わせ、しっかりと生産者が再生産可能な、持続的な強いふるさとをつくります。

このほか、カーボンニュートラルの実現、防災減災の整備などにも取り組みます。

人口減少社会の克服

課題解決最先端の秋田に 先進技術の積極活用
減少局面でも豊かに暮らせる国づくり

本格的に人口減少社会に突入した日本。その課題に最も早く向き合うことになった地域が私達の暮らす秋田です。言いかえればその課題解決の最先端に現在の秋田があります。経済・産業から地域そのものの維持まで、どう乗り越えていくかを考えなければなりません。DXやAI、先進技術は人口が少ない地域でこそ大きな効果を発揮します。人口が減る局面にあっても知恵と技術で豊かに暮らすための政策を、国政の場で形にしていきます。

国民生活を守り抜く

国土、国民を守る 物価高対策 経済食料安全保障

日本の国土・国民を守るには政治の大きな使命です。デフレからの脱却は道半ばですが、その過程で起こっている物価高に対しては政治がしっかりと対応しなければなりません。景気回復を実現しつつ国民が安心して暮らせるよう、ガソリンの暫定税率廃止の早期実現をはじめとした物価高支援を充実させ国民の生活を守ります。また世界情勢がめまぐるしく変わり緊張感が高まる中で、日本の経済と食料をしっかりと守り抜きます。

質の高い教育と子育て環境

ICTも活用した教育環境の充実 家庭の負担軽減 スポーツの振興
経済格差が教育の格差につながらないよう、自治体との連携を深め、学費や給食など地域と県民の実情に合わせた支援を受けられる環境をつくっていきます。また子供たちが夢と目標を持って日々を過ごせるよう、プロスポーツをはじめとするスポーツの振興に取り組みます。



なかい
ずみ
松司

自民党公認

投票。

それは、
願いを
込めること。

参議院議員 第27回 通常選挙

投票日：令和7年

7.20日

期日前・不在者投票 7.4金 → 7.19土

